

令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

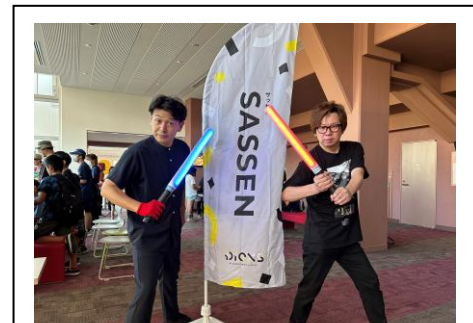
事業名	ネクストスポーツで地域を繋ぐ事業
事業主体 (連絡先)	ネクストスポーツで地域を繋ぐ会 事務局 (0269-23-5090)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 856, 300 円 (うち支援金: 1, 485, 000 円)

1 「自由研究フェス」の開催

令和6年8月2日ソソラホールにて開催。コラボイベントとしてキッチンカーやマルシェの招致もあり3,000人の来場があった。E-sports、SASSENの体験ブースを常設し600名ほどの方に楽しんでいただいた。またゲストに「こてつ」が来場。同体験ブースにて体験していただきSNSでも使用させていただいた。

2 「SASSEN&e-sports 体験会」

令和6年12月1日ソソラホール二階会議室にて開催。予定定員を上回る29名の市内小学生とそのご家族の参加があった。2時間の中で2班に分け、各競技の体験会を交互に行った。



【目標・ねらい】

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①中野市民から、次世代スポーツの実践者の増加:

150名

②中野市民での、次世代スポーツの理解者の増加:

550名

③県内、県外からの中野市の次世代スポーツへの取

り組み評価: 30%増加

事業効果

① 中野市民から、次世代スポーツの実践者の増加: 150名

→上記イベントの体験者数から、増加があったと考え

る。

② 中野市民での、次世代スポーツの理解者の増加: 550名

→体験はなくても目にしたり耳にさせていただく機会が増えたことにより増加したと考えるが、400名ほどだと考える。

③県内、県外からの中野市の次世代スポーツへの取り組み評価: 30%増加

→SNSを用いての発信を中心に行っていたが5%ほどにとどまったと思われる。

※自己評価【 B 】

【理由】

定員や予定していた規模の人数を上回ることができた。しかし、情報発信や周知してもらうことに課題が残りBとした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

引き続き理解者実践者の増加のために、アカデミーの開設や大型大会の開催を考える。

参加者には参加費を徴収し、持続的な活動につなげていきたい。

まだまだ活動を知らない人に向けて、どのようにして興味を持ってもらうかを課題として活動を続けます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第 1 2 号) (第 3 の 8 関係)